

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	1	必修
担当教員			
南部 登志江			
火3			
添付ファイル			

科目の概要	老年期を生きる人々を多角的にとらえ、発達課題について概説する。老年期の特徴や加齢に伴う心身の諸機能の変化と生活への影響を理解し、老年看護における看護の役割について概説する。高齢者を取り巻く社会的状況・ケアシステム及び高齢社会の諸課題を概説する。高齢者を取り巻く医療福祉の現状や連携の必要性、家族のニーズについて概説する。
授業の内容	<p>第1回 教科のガイダンス（授業の進め方、老年看護学にかかわる授業、成績評価の説明） 老いるということ、老いを生きるということ（資料・DVDを見て高齢者の理解） 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 課題：ライフコースインタビューについて説明 予習：シラバスと老年看護学のテキスト「第1章」を読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第2回 老年期を生きる人々の理解 老年期の発達課題と活用する理論（発達理論、ストレンクス、ニード論など） 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 予習：発達理論、ストレンクス、ニード論についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第3回 加齢変化に伴う身体的変化の特徴 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 予習：身体的・生理的側面についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第4回 加齢変化に伴う心理的・社会的変化の特徴 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 予習：心理的变化、社会的変化についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第5回 超高齢社会と社会保障 統計的輪郭（高齢者に関する統計） 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 予習：高齢社会の統計的傾向についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第6回 超高齢社会と社会保障 高齢社会における保健医療福祉の動向（保健医療福祉に関する制度・法律） 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 課題：「高齢者ケア施設と看護の役割について」説明 予習：保健医療福祉に関する制度・法律についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>第7回 老年看護の倫理的問題と高齢社会における権利擁護（高齢者虐待、成年後見制度などの法律） 授業内で振り返りとまとめ（1～2問の小テスト） 予習：高齢者虐待、成年後見制度などの法律についてテキストを読んでおく。 復習：配付した資料を確認する。</p> <p>第8回 老年看護における看護の機能と役割 高齢者を支える人々（課題レポートふりかえり、高齢者化施設と看護の役割、定期試験について） 予習：高齢者ケア施設と看護の役割についてテキストを読んでおく。 復習：配付資料を確認する。</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知識（理解）：老年期を生きる高齢者の発達課題と成熟について説明できる。</li> <li>2. 知識（理解）：我が国における高齢化の進展と保健医療福祉の変遷について説明できる。</li> <li>3. 態度・関心：高齢者の抱える健康障害や健康課題について説明できる。</li> <li>4. 思考・判断：高齢者のQOLを高めるための老年看護の役割について記述できる。</li> <li>5. 思考：自己の老年観を確認することができる。</li> </ol>
授業の方法	<p>【授業形態】 講義・グループワーク・ディスカッション 【アクティブラーニングの取り入れ状況】 学生自身が授業内容に対して調査・学習し主体的に学習できるように事前課題、事後課題などを提示しながら授業に取り組む。 【ICTを利用した双方向授業】 状況により、取り入れることも多いので、各自速やかに利用できるよう、パソコン、スマホなど機器の準備・確認をしておく。質問は授業中に行う。 【その他特記事項】</p>
成績評価の方法	<p>【評価項目】 最終試験の受験資格は、学則に基づく。 到達目標1～4：定期試験、到達目標5：レポート、受講態度を総合的に判断して評価する。 【割合】 定期試験70%、レポート20%、受講態度10%</p>

教科書・テキスト	北川公子他、系統的看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院2021年 奥野茂代・大西和子監修、百瀬由美子編集：老年看護学【第6版】概論と看護の実践 ノーベルヒロカワ 2021年
参考書	厚生労働統計協会編：国民衛生の動向2020/2021版 厚生労働統計協会
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	1. シラバスを確認後、科目の概要を熟読し、授業回毎の授業主題について調べ学修する。 2. 授業後は、用いたテキスト・資料等から、学修内容の整理と疑問点などの確認をする。
履修上の留意事項	1. 授業回ごとに、ポートフォリオ(振り返り)を作成する。 2. 第1回目のガイダンス時に学びの説明をする。 3. 積極的な学習と発言を重視する。
オフィスアワー	第1回目授業時に説明する。
課題に対するフィードバックの方法	事前課題を持参して授業に臨む場合は、事前課題を活かせるようにする。 第1回目のガイダンス時に1回目、8回目についての課題内容を説明する。 授業終了後は再度事後課題を持ち、振り返りを行う。 授業終了時に確認テストなどを用いて、理解度を確認する。
実務経験	南部：看護師
その他	